

## 第1回県中地区中学校陸上競技大会実施要項

- 1 主催 郡山市中学校体育連盟 岩瀬支部中学校体育連盟 田村支部中学校体育連盟
- 2 共催 郡山市教育委員会 須賀川市教育委員会 鏡石町教育委員会 天栄村教育委員会  
田村市教育委員会 三春町教育委員会 小野町教育委員会
- 3 後援 郡山市体育協会
- 4 期日 令和5年5月17日(水)～18日(木)
- 5 場所 田村市陸上競技場
- 6 種目 男子17種目 女子14種目  
  
《男子》 1年100m 2年100m 3年100m 1年1500m  
2・3年1500m 共通200m 共通400m 共通800m  
共通3000m 共通110mH 1・2年4×100mR  
共通4×100mR 共通走高跳 共通棒高跳 共通走幅跳  
共通砲丸投 共通四種競技  
  
《女子》 1年100m 2年100m 3年100m 共通200m  
共通800m 1年1500m 2・3年1500m 共通100mH  
1・2年4×100mR 共通4×100mR 共通走高跳 共通走幅跳  
共通砲丸投 共通四種競技
- 7 出場制限
  - ・常設陸上競技部を有する学校で常設部員は1種目2名、それ以外の学校は1校1名までとする。
  - ※ 1年男子100mに常設部員と常設部員がエントリー → ○  
" "に常設部員と特設部員がエントリー → ×
  - ※ 1年男子100mにエントリーがないので特設部員が1名エントリー → ○
  - ・1人1種目(リレーは除く)
  - ・リレー2種目を兼ねることはできない。なお、リレーは他種目とはみなさない(申込み時の選手は、競技中他のリレーに出場することはできない)。
  - ・学年が明記されているものについては、当該学年に限る。
  - ・共通種目については、全学年が該当する。
- 8 申し込み 申し込みについては、各学校へ申し込み様式データ(申し込み一覧表)を送るので、必要事項を入力し、選手データについては、5月10日(水)の16時厳守で郡山第三中学校:(アドレス:sato.futoshi@fcs.ed.jp)へメールで送信する。また、申し込み一覧表・参加料1人300円についても同日の理事会時に持参する。
- 9 審判員割当 各校中体連理事、陸上競技専門部を中心に割り当てる。

10 各校のアスリートビブス

学校名	NO	学校名	NO	学校名	NO
日和田	101～	守山	1201～	富田	2301～
行健	201～	高瀬	1301～	大槻	2401～
明健	301～	郡山一	1501～	小原田	2501～
安積	401～	郡山二	1601～	宮城	2701～
安積二	501～	郡山三	1701～	御館	2801～
三穂田	601～	郡山四	1801～	西田	2601～
逢瀬	701～	郡山五	1901～	湖南	1101～
片平	801～	郡山六	2001～	ザベリオ	2901～
喜久田	901～	郡山七	2101～	県聴覚	3001～
熱海	1001～	緑ヶ丘	2201～		
須一	4000～	稲田学園	4400～	長沼	4800～
須二	4100～	小塩江	4500～	鏡石	4900～
須三	4200～	仁井田	4600～	岩瀬	5000～
西袋	4300～	大東	4700～	天栄	5100～
滝根	6000～	常葉	6300～	三春	6600～
大越	6100～	船引南	6400～	岩江	6700～
都路	6200～	船引	6500～	小野	6800～

※ クラブチーム7000～、8000～

11 日程

【1日目】

6:50 開場・会場準備  
 7:00 競技場開放（練習開始）  
 8:10 役員打ち合わせ  
 9:00 競技開始  
 16:40 競技終了

【2日目】

6:50 開場・会場準備  
 7:00 競技場開放（練習開始）  
 8:10 役員打ち合わせ  
 9:00 競技開始  
 16:35 競技終了

12 競技方法 (1) トラック競技は予選・決勝で行う。ただし、男子3000mは決勝（TR）のみとする。

※全て準決勝を行わない。（予選TRまたは参加状況によっては着取り対応）

(2) 1・2年4×100mRは、1年2年それぞれ2名ずつ走るが、そのオーダーについては特に規定はない。

(3) 四種競技は、2日間で行い、競技順序は下記の通りとする。

男子：1日目	110mH→砲丸投	2日目	走高跳→400m
女子：1日目	100mH→走高跳	2日目	砲丸投→200m

(4) 男子110mH 1台目まで 13.72m  
 インターバル 9.14m  
 10台目からゴールまで 14.02m  
 ハードルの高さ 91.40cm  
 女子100mH 1台目まで 13.00m  
 インターバル 8.00m  
 10台目からゴールまで 15.00m  
 ハードルの高さ 76.20cm

(5) 砲丸の重さ、男子砲丸投 5.0kg 女子砲丸投げ 2.72kgとする。（四種競技の砲丸は、男子4.0kg、女子2.72kg）

- (6) 個人・リレーともに8位まで入賞した選手及びチームへ賞状を各校に配付する。  
(リレーの3位まではメンバー全員)
- (7) トラック競技のスタートについては、「イングリッシュコマンド」で行う。  
短距離「オン・ユア・マークス → セット → 号砲」  
長距離「オン・ユア・マークス → 号砲」  
1回目以後のフライング失格を採用する。ただし、四種競技については、従来通りのルールを適用する。
- (8) フィールド競技の試技時間は1分間とする。
- (9) リレー種目においては原則として同一のユニフォームを着用する。同色・同デザインのランニングパンツとスパッツの違いはこの限りではない。

### 13 選手招集について

- (1) ルール改正に伴う使用するスパイクやシューズの靴底の厚さの計測については、今年度より参加選手がWA承認シューズリストのシューズを着用していることを前提とし、招集所でのシューズチェックは行わないこととする。  
ただし、審判「シューコントロール・オフィサー」や審判長の権限により、いつでもシューズチェックをすることができ、参加者はその指示に従わなければならない。明らかに規則違反のシューズや疑義のあるシューズは、チェックや回収の対象になることがある。万が一レース後に違反が認められた場合は、失格となり記録が取り消される場合がある。  

日本陸競技連盟公式サイトより

※ただし、スパイクのピンについては検査を行うので、事前にスパイクのピンは、ルールに沿ったものを準備しておくこと。

### 14 県大会出場について

- (1) 各種目6位まで。ただし、常設部員2名がともに6位以内だった場合、結果が上位の競技者のみが県大会出場の権利を有するものとする。
- (2) 県大会の出場が他の競技種目と兼ねる競技者で、他の種目に出場する場合は、県中大会終了後直ちに県中地区専門委員長に申し出る（詳細は後に連絡する）。その場合、次の順位の競技者が繰り上がる。リレー種目については、オーダーを変更し、申し出る。
- (3) アスリートビブスは県大会主催者が準備をする。

### 15 その他 リレー優勝校（4チーム）に優勝杯を授与する。

### 16 新型コロナ対応（段階的措置として）

- (1) 3密を防ぐ観点から（密閉空間、密集場所、密接場所）
  - ① 補助員は原則としておかない。  
→ 主催者として消毒液やマスクを準備できない。
  - ② 室内走路は原則として使用しない。  
→ 空気がこもりやすい場所である。窓を開けても風は通りにくい。
  - ③ 開閉会式は簡略化して行う。  
→ 時間短縮、接触機会を減らすため。
  - ④ 表彰式はリレー競技の優勝校のみ行う。  
→ 時間短縮、接触機会を減らすため。
  - ⑤ 体育館を各校控え場所とする。
  - ⑥ 参加に当たり保護者の承諾を得ること。

(2) 日本陸連から出ている条件

① 3密回避の励行

- ・密閉空間（効果的な換気が実施されていない）
- ・密集場所（多くの人が密集している）
- ・密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）

② 清潔な環境

- ・こまめに手洗いまたは手指の消毒を行い、手を清潔に保つ。
- ・多くの人が頻繁に触れる箇所を清潔に保つ。

③ マスク着用について

- ・個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本とする。各個人のマスクの着用の判断に資するよう、感染防止対策としてマスクの着用が効果的である場面などを政府が示すように、大会の期間、規模、参加対象者に応じて、感染防止対策としてマスクの着用が効果的である場面の場合を、主催者において適切に判断すること。
- ・咳をする際には、咳エチケットにより飛沫を飛ばさないようにする。  
※夏場の運動やマスクを着用して運動を行う場合、熱中症を引き起こす恐れもあるため、熱中症予防の観点から、屋外でマスクの必要のない場面では、マスクを外すことを推奨する。令和5年3月13日以降のマスク着用の考え方について

④ 競技会に関わる全ての人（競技者・チーム関係者・大会/競技役員・観客・メディア・競技場スタッフなど）への基本的な注意事項

- ・3密を避けた行動の推奨。
- ・こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒。
- ・日々の体調管理の推奨。
- ・新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスなどによる感染症罹患中および快復後十分な時間を経過していない場合に競技会へ参加しない、また競技会場において観戦しないことを周知徹底する。（注：快復後十分な時間とは、新型コロナウイルス；新型コロナウイルス感染症について | 厚生労働省 (mhlw.go.jp) 症状がある場合は10日間、症状がない場合は7日間、インフルエンザ；令和4年度インフルエンザQ&A (mhlw.go.jp)、一般的に発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまでとされる）
- ・発熱、咳嗽等の症状がある者への参加・観戦自粛の呼びかけ。

⑤ その他

- ・声を出しての応援について制限はしない。
- ・競技会場への入場者制限について、主催者において適切に判断すること。

⑥ 大会主催者の免責事項 大会主催者の責任の範囲を明確にする

- ・大会主催者は競技に関わる人（競技者、審判、役員）に対して加入する保険の補償内容を明示する。
- ・大会主催者は競技会に関わる全ての人への感染に対するいかなる責任も負わない。